

第二期柏市子ども・子育て支援事業計画
（ 計画期間 令和2年度 ～ 令和6年度 ）

1. 主な事業の進行管理報告書

1 支援団体（支援者）のネットワーク構築【子育て支援課】

[支援団体(支援者)のネットワークの構築]

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
計画	実施予定の項目を記入します	実施予定の項目を記入します	実施予定の項目を記入します		
実績	実績を記入します	実績を記入します			

■実現に向けて取り組んだこと

(記載例)

◆子育て応援情報誌「touch」の作成を通じたつながり作り

企画検討・市民大学公開講座からスタートし、平成30年度以降は子育て応援情報誌「touch」の作成を市民活動団体へ委託することで、ネットワーク作りを行いました。

冊子作成の講座や企画・取材・編集・印刷等を市民編集委員により行うことを通じて、編集委員のスキルアップとともに、市民同士や市民と支援者、市民と子育て支援施設などのネットワーク作り、また、市民の活動力向上及び地域資源の発掘を目指しました。

■取り組みの成果・課題

(記載例)

◆「touch」の作成を通じて、他事業との相乗効果が見られました。冊子づくりから市民活動に興味を持ち、翌年に啓発イベントの実行委員会で活動を行うかたが出てくるなど、地域資源の発掘ができました。

また、子育て中のかたが欲しい情報を冊子として形にすることで、広く子育て中のかたへの情報提供としての機能も担いました。

情報誌の発行やイベント開催といった目に見える事業を市民主体で行うことで、子育て世代を含めて多くの団体・個人が有期のネットワーク組織として機能を始めています。事業自体が目的にならず、ネットワーク構築のツールとして機能するよう、社会状況に応じて工夫しながら引き続き状況を見ながら後押ししていく必要があります。

■子ども・子育て会議からの意見

(記載例)

かしわ子育て応援情報誌「touch」の発行部数が多ければこども園、幼稚園、保育園にも配れてよい。若い保護者がたが好まれるような紙面構成、内容であったが、認知度が低いと思う。ネットワーク構築には幅広く様々なかたに認知することが重要。

市民のつながりはもちろん、作成された冊子がより有効に活用されるよう、必要な人の手に届きやすいようにしてほしい。

■今後の課題と来年度の予定

(記載例)

令和2年度は掲載情報を「地域子育て支援拠点」に絞り、取材・講座・編集会議等のつながりを目的とした部分は感染症防止対策を講じながら事業を実施します。ネットワークの構築を目的とした事業ですが、「子育て当事者発信の情報」という強みを活かし、情報ツールとしても引き続き活用していきます。冊子の存在を広く周知できるよう、各施設にも協力をいただきながら配布を進めたいと考えています。